

悪魔

芥川龍之介

青空文庫

伴天連ぼてれんうるがんの眼には、外の人の見えないものまでも見えたさうである。殊に、人間を誘惑ひとみに来る地獄の悪魔の姿などは、ありありと形が見えたと云ふ、——うるがんの青い瞳ひとみを見たものは、誰でもさう云ふ事を信じてゐたらしい。少くとも、南蛮寺なんばんじの泥烏須でうすによ如らいをらい礼らい拝はいする奉教人ほうけうにんの間には、それが疑ふ余地のない事実だつたと云ふ事である。

古写本こしゃほんの伝ふる所によれば、うるがんは織田信長おだのぶながの前で、自分が京都の町で見た悪魔の容子ようすを物語つた。それは人間の顔と蝙蝠かうもりの翼と山羊やぎの脚とを備へた、奇怪な小さい動物である。うるがんはこの悪魔が、或は塔の九輪くりんの上に手を拍うつて踊り、或は四よつ足門あしもんの屋根の下に日の光を恐れて蹲うづくまる恐しい姿を度々たびたび見た。いやそればかりではない。或時は山の法師はふしの背にしがみつき、或時は内うちの女房にようばうの髪にぶら下つてゐるのを見たと云ふ。しかしそれらの悪魔の中で、最も我々に興味のあるものは、なにがしの姫君ひめぎみの輿こしの上に、あぐらをかいてゐたと云ふそれであらう。古写本こしゃほんの作者は、この悪魔の話なるものをうるがんの諷諭ふうゆだと解してゐる。——信長が或時、その姫君に懸想けさうして、たつて自分の意に従はせようとした。が、姫君も姫君の双親ふたおやも、信長の望に応ずる事を喜ばない。そこでうるがんは姫君の為に、言を悪魔に藉かりて、信長の暴を諫いさめたのであらうと云ふので

ある。この解釈の当否は、元より今日こんにちに至つては、いづれとも決する事が容易でない。と同時に又我々にとつては、寧ろむしいづれにせよ差支さしつかへのない問題である。

うるがんは或日ゆふべの夕、南蛮寺なんばんじの門前で、その姫君の輿こしの上に、一匹の悪魔が坐つてゐるのを見た。が、この悪魔は外ほかのそれとは違つて、玉のやうに美しい顔を持つてゐる。しかもこまねいた両手と云ひ、うなだれた頭かしらと云ひ、恰あたかも何事かに深く思ひ悩んでゐるらしい。

うるがんは姫君の身を気づかつた。双親ふたおやと共に熱心な天主教てんしゆけうの信者である姫君が、悪魔に魅入みいられてゐると云ふ事は、唯事ただごとではないと思つたのである。そこでこの伴天連ばてれんは、輿こしの側へ近づくと、忽尊たちまちい十字架くくるすの力によつて難なく悪魔を捕へてしまつた。さうしてそれを南蛮寺なんばんじの内陣ないじんへ、襟がみをつかみながらつれて来た。

内陣ないじんには御主おんあるじ耶穌ヤソキリストキリストの画像ぐわさうの前に、蠟燭ろうそくの火が煤すすぶりながらともつてゐる。うるがんはその前に悪魔をひき据ゑて、何故なぜそれが姫君の輿こしの上に乗つてゐたか、厳しく仔細しさいを問ひただした。

「私わたくしはあの姫君ひめぎみを墮落させようと思ひました。が、それと同時に、墮落させたくないと
も思ひました。あの清らかな魂たましひを見たものは、どうしてそれを地獄じかくの火に穢けがす気がするで

せう。私はその魂をいやが上にも清らかに曇りなくしたいと念じたのです。が、さうと思へば思ふ程、愈墮落させたいと云ふ心もちもして来ます。その二つの心もちの間に迷ひながら、私はあの輿の上で、しみじみ私たちの運命を考へて居りました。もしさうでなかつたとしたら、あなたの影を見るより先に、恐らく地の底へでも姿を消して、かう云ふ憂き目に遇ふ事は逃れてゐた事でせう。私たちは何時でもさうなのです。墮落させたくないもの程、益墮落させたいのです。これ程不思議な悲しさが又と外にありませうか。私はこの悲しさを味ふ度に、昔見た天国の朗な光と、今見てゐる地獄のくら暗とが、私の小さな胸の中で一つになつてゐるやうな気がします。どうかさう云ふ私を憐んで下さい。私は寂しくつて仕方がありません。」

美しい顔をした悪魔は、かう云つて、涙を流した。……

古写本の伝説は、この悪魔のなり行きを詳にしてゐない。が、それは我々に何の関りがあらう。我々はこれを読んだ時に、唯かう呼びかけたいやうな心もちを感じさへすれば好いのである。……

うるがんよ。悪魔と共に我々を憐んでくれ。我々にも亦、それと同じやうな悲しさがあ

(大正七年六月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

悪魔

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>